

広島県緑化センター 4月の開花マップ



A ウグイスカグラ



B エヒメアヤメ



C オオデマリ



D オキナグサ



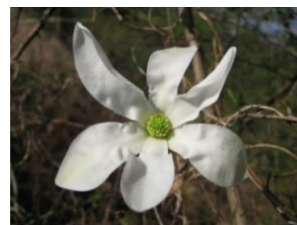
E キクモモ



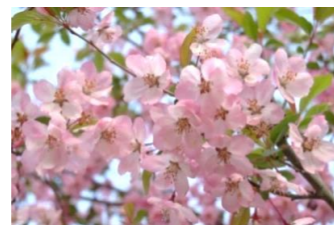
F キリシマツツジ



G ザイフリボク



H タムシバ



I ハナカイドウ



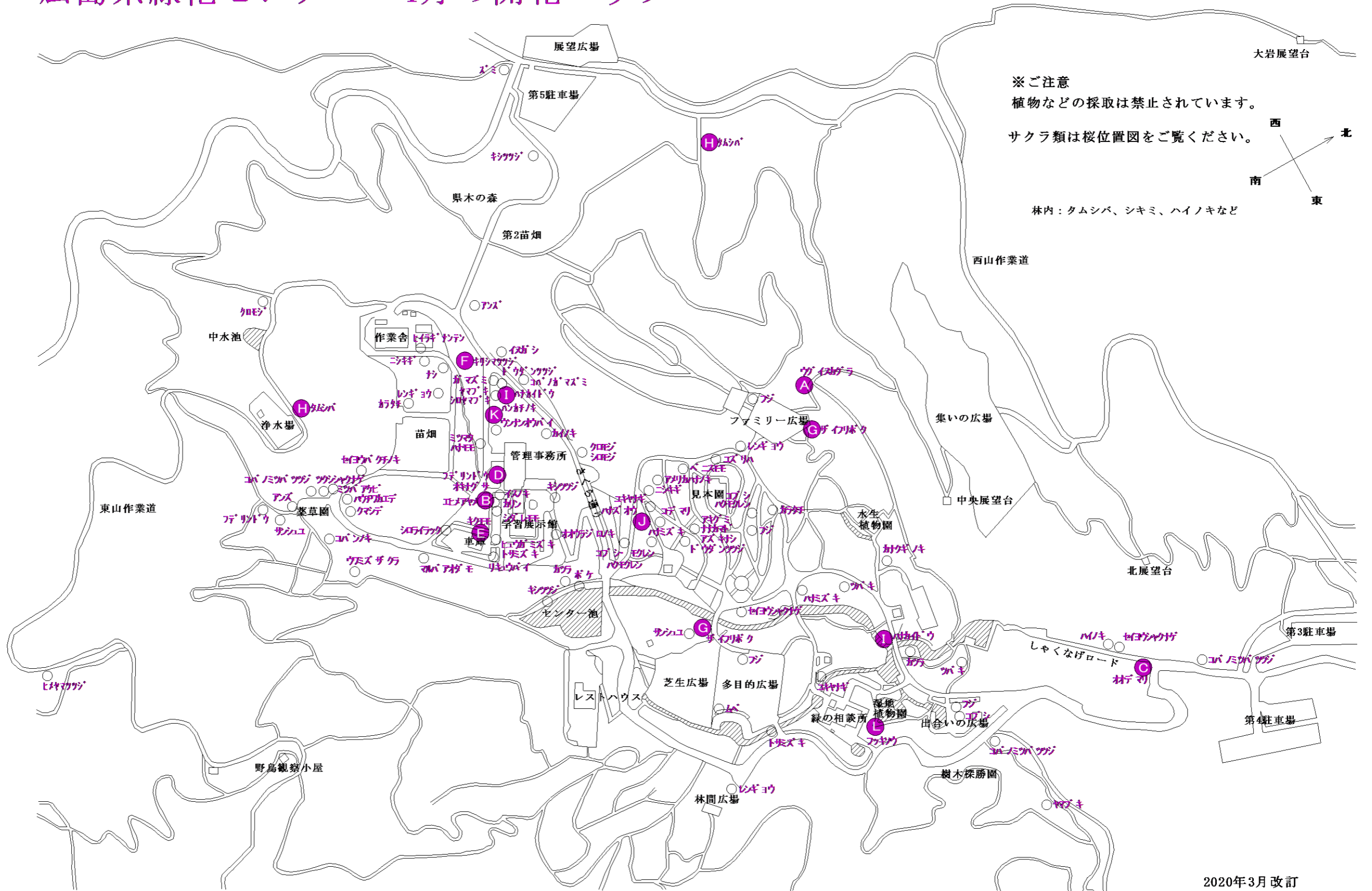
J ハナズオウ



K ハンカチノキ



L フッキソウ



2020年3月改訂

ここに掲載のない植物写真や、植物の詳しい解説はホームページをご覧ください。

<https://ryokka-c.jp/guide/>



4月 開花マップ

植物名	科名	属名	別名	自生・植栽場所	平均開花 確認日	解説	備考
アオキ	アオキ	アオキ		公園入口	4/6	明るい雑木林等に生育し、高さ2～3mになる。花は雌雄別株で3～5月に紫褐色の小さな花を多数つける。果実は1.5～2cmの長楕円形で12～5月に赤く熟す。実の色が白や黄色の珍しい種もある。	
アキグミ	グミ	グミ		見本園	4/22	河原、原野、川岸の礫地等日当たりのよいところに生え、高さ3～5mになる。花は4～6月に垂れ下がってつく。はじめ白色でしだいに黄色を帯びてくる。果実は、9～11月に赤く熟す。	
アズキナシ	バラ	アズキナシ	ハカリノメ	見本園	4/27	花は両性で白色、短枝に複散房花序をつけ5～6月に開花する。果実は10月頃赤く熟す。果実がナシの果実に似ていて小さいため名付けられた。黒紫色の小枝に明瞭な白の皮目を持つので、別名ハカリノメと呼ばれる。	
アメリカハナノキ	ムクロジ	カエデ	ベニカエデ	見本園	3/27	北米東部原産の落葉高木、高さは15～20m。葉は、長さ8～10cm、幅5～8cmで、3～5裂する。裏面は粉白色で、脈上に綿毛がある。雌雄別株。4月頃に葉より早く橙紅色～濃紅色の花が枝先に集まって咲く。	
アンズ	バラ	アンズ	カラモモ	薬草園	4/2	中国北部原産。果樹として各地に植えられている。主産地は長野県。花は3～4月に葉が展開する前に開花。淡紅色、花弁は5個、萼は反り返る。果実は6月に橙黄色に熟す。シロップ漬けやジャムなどに用いられる。	
イスノキ	マンサク	イスノキ	ヒョンノキ	管理事務所横	4/19	常緑樹林内に生育し、高さ20m。花は雌雄同株で4～5月に円錐花序を出し、上部に両性花、下部に雄花がつく。果実は7～10mmの広卵形で熟すと2裂する。葉にアブラムシによる虫えいができる。	
ウグイスカグラ	スイカズラ	スイカズラ	ウグイスノキ	ファミリー広場北探索路橋の横	3/24	山野に生育し、高さ2mほどになる。葉は対生、両面とも無毛で、裏面は緑白色。花は4～5月に淡紅色の花をつけ、花冠は1～2cmの漏斗状。果実は、6月に赤く熟す。	
ウワミズザクラ	バラ	ウワミズザクラ	ハハカ	薬草園下川沿い	4/25	日当たりのよい谷間や沢の斜面に生育し、高さ15～20mになる。花は葉の展開後に開花する。新枝の先から伸びた長さ8～15cmの総状花序に白い花が多数密集してつく。果実は、8～9月に赤色から黒色に熟し、食べられる。	
ウンナンオウバイ	モクセイ	ソケイ	オウバイモドキ	管理事務所横	4/1	中国南部原産。枝は四角でつる状。葉は3出複葉。3～4月に鮮やかな黄色い花をつける。花径は4～5cm、花冠は6～8つに裂ける。オウバイより花は大きい。オウバイは落葉性。	
エヒメアヤメ	アヤメ	アヤメ	タレユエソウ	管理事務所前	4/12	草丈は4月から5月の開花期で10～15cmと小さいながら、直径4cm程の美しい青紫色の花を咲かせる。生育地が限られており、国指定の天然記念物に指定されていることが多い。移植は難しく栽培は困難とのこと。	
オオウラジロノキ	バラ	リンゴ	オオズミ	学習展示館前	4/27	山地の乾燥した尾根などに生育し、高さ10～15mになる。若葉や葉柄は綿毛が多い。花は両性で白色、花柱が5個付く。果実は9～10月に赤く熟す。	
オオデマリ	レンプクソウ	ガマズミ	テマリバナ	しゃくなげロード入口	4/28	日本では古くから栽培させている園芸種。枝の先端につけた花序はすべて白色の装飾花で球状。果実は結実しない。ヤブデマリよりも葉に丸みがあり、側脈は10～15対とヤブデマリの7～12対よりも多い。	
オキナグサ	キンポウゲ	オキナグサ		管理事務所前	3/27	山地の日当たりの良い所に生える多年草。全体に長い白毛が密生している。特に果実には長い白毛があり、オキナグサ(翁草)の名前はこのことにちなんでいる。花期は4～5月。県内ではあまり見かけなくなっている。	
カキノキ	ウルシ	カキノキ	ランシンボク	さくら通り法面	4/20	中国・台湾・フィリピン原産、高さ15～25m。枝や葉に独特の香りがある。花は、雌雄別株で4月頃葉の展開と同時に小さな花を円錐状につける。中国の孔子廟に植えられ、『学問の聖木』とされる。	
カツラ	カツラ	カツラ		センター池横	3/24	花は雌雄別株で、3～5月に葉が展開する前に開花する。花には花弁や萼もない。黄葉した葉には甘い独特な香りがあるので、抹香にした。	
カナクギノキ	クスノキ	クロモジ	ナツコガ	水生植物園下	4/3	丘陵や山地に生育し、高さ6～15m。花は雌雄別株で、4月に葉の展開と同時に黄緑色の小さな花が集まってつき開花する。果実は、9～10月に赤色に熟す。クロモジとは、皮目の目立つ淡褐色の枝と赤色の果実で区別できる。	
ガマズミ	レンプクソウ	ガマズミ	アラゲガマズミ	管理事務所横三叉路、他園内	4/25	花は5～6月、枝先に直径6～10cmの散房花序をだし、白く小さな花を多数つける。果実は6～8mmの広卵形で9～11月に赤く熟す。コバノガマズミの仲間は葉柄が長さ6mm以下と短いのにに対し、ガマズミの葉柄は1cm以上ある。	
カラタチ	ミカン	ミカン	キコク	見本園、苗畑	4/11	樹高2～4m。枝は硬く、ジグザグに伸び、長さ1～6cmの大きな刺が多数ある。葉は三出複葉で、葉柄に狭い翼がある。4～5月に直径3～5cmの白い花が咲く。果実は直径3cmの球形で、黄色に熟す。薬用になる。	
カリン	バラ	ボケ		学習展示館裏法面	4/9	花は両性花と雄花が混生し、4～5月に短枝の先に淡紅色の花が1個ずつ付く。果実は、長さ10～15cmの楕円形または倒卵形で、10～11月に黄色に熟す。芳香はあるが、果肉はかたく、渋みがあるので生では食べられない。	
キクモモ	バラ	モモ		車庫横	4/11	モモの園芸品種。名前の由来は、花の形がキクに似ていることによる。花は鮮やかな桃色で八重咲きの中輪。3月下旬から4月上旬頃開花する。	

4月 開花マップ

植物名	科名	属名	別名	自生・植栽場所	平均開花 確認日	解説	備考
キシツツジ	ツツジ	ツツジ		センター池ほり他	4/9	川岸などに生える。樹高は1～1.5m。葉は互生、長さは2～6cmの細長い楕円形で両端がとがる。4～5月に紅紫色の花を咲かす。ヒラドツツジやリュウキュウツツジの交配親と言われる。	
キリシマツツジ	ツツジ	ツツジ		管理事務所前法面	4/14	ヤマツツジとミヤマキリシマの交配、あるいはサタツツジから作られたと言われる。江戸時代に江戸を中心に改良された江戸キリシマ系と久留米地方で改良されたクルメツツジに大別される。	
キレンゲツツジ	ツツジ	ツツジ		第2駐車場法面	4/24	花は5～7月上旬に葉の展開と同時に開花する。枝先に朱橙色の花が2～8個集まってつく。花冠は、直径5～8cmの漏斗形。果実は、10～11月に熟す。花が黄色または橙黄色のものがキレンゲツツジと呼ばれる。	
クマシデ	カバノキ	クマシデ	イシシデ カタシデ	苗畑(わんこひろば) 下法面	4/17	花は雌雄同株、4～5月に葉が開くと同時に開花する。雄花序は黄褐色で前年枝の葉腋から下垂し、雌花序は緑色で新枝に頂生する。果実は堅菓で8～10月に熟す。	
クロモジ	クスノキ	クロモジ		さくら通り	3/27	枝を折るとよい香りがする。花は雌雄別株、4月に葉の展開と同時に黄緑色の小さな花が集まって開花する。材は白く、独特の香りがあるので楊枝や細工物に使われる。	
コデマリ	バラ	シモツケ		見本園	4/28	中国中部原産で古い時代に渡来。葉縁の上半部には欠刻状の鋸歯がある。花は、4～5月に枝先に直径2.5～3cmの散房花序をだし、直径1cmほどの白花を多数つける。実は6～8月に熟す。	
コバノガマズミ	レンプクソウ	ガマズミ		さくら通り	4/20	丘陵～山地に生育し、高さ4mほどになる。花は4～5月に枝先に直径3～7cmの散房花序をだし、白い小さな花を多数つける。雄しべは長くつきで、雌しべは短い。果実は、9～11月に赤く熟す。	
コバノミツバツツジ	ツツジ	ツツジ		出合いの広場他各所	3/31	海岸～丘陵の日当たりのよいアカマツ林などの2次林に生育し、高さ1.5m～4m。花は3月下旬～4月に葉の展開前または同時に開花し、枝先に紅紫色または淡紅紫色の花を1～2個つける。果実は、8～9月に熟し裂開する。	
コバンノキ	ミカンソウ	コミカンソウ		薬草園下奥	4/26	川岸や崖地に生育し、高さ2～3m。葉は2列に互生し、両端とも丸く全縁で無毛、裏面は粉白色。花は4～5月に暗紫色の小さい花を付ける。果実は9～10月に径約6mmの球形で、黒く熟す。	
コブシ	モクレン	モクレン		見本園 出合いの広場	3/21	花は3～4月に葉が展開する前に直径7～10cmの香りの良い白色の花をつける。葉をもむと強い香りがする。タムシバとの見分け方は、開花時に花のすぐ下に小形の葉(托葉)があることで区別できる。	
ザイフリボク	バラ	ザイフリボク	シデザクラ	芝生広場横、ファミ リー広場下	4/5	雑木林の林縁などに生育し、高さ5～10m。花は4～5月に枝先に白色の花が10個ほど集まって咲く。花弁は5個。果実は直径6～10mmの球形で9～10月に紫色から黒紫色に熟し、白い粉をかぶる。	
サンシュユ	ミズキ	ミズキ	ハルコガネバナ	薬草園、芝生広場 横	3/24	朝鮮、中国の原産で、日本には享保年間に渡来した。花は3月頃、葉に先立って散形花序をつけ、黄色の小さな花を20～30個開く。果実は5月成熟、長さ1.5cmの楕円形で、赤く熟す。	
シキミ	マツブサ	シキミ	ハナノキ	林内	3/17	葉は互生し、長さ4～10cmで傷つけると抹香の香りがする。花は3～4月に黄白色の花をつける。全体が有毒で果実は猛毒。「悪しき実」がなまったと言われる。	
シダレモモ	バラ	モモ		学習展示館裏	4/6	モモの園芸品種で枝がしだれる品種。開花は4月頃、白色で八重の花を咲かせる。	
シロモジ	クスノキ	クロモジ	アカジシャ	さくら通り	3/22	樹皮は灰褐色で皮目が多い。花は雌雄別株で4月に葉の展開前に黄色の花が3～5個集まって咲く。雌株は雄株に比べ花の数が少ない。果実は、直径1cmほどの球形で晩秋に黄緑色に熟す。	
シロヤマブキ	バラ	シロヤマブキ		管理事務所横	4/26	自生地は限られて広島県のレッドデータブック(絶滅危惧種)に指定されている。花は4～5月に新しくでた側枝の先に直径3～4cmの白色の花が1個つく。果実は、長さ約7mmの楕円形で4個集まってつき9～10月に熟す。	
シロライラック	モクセイ	ハシドイ		車庫前	4/11	明治中期に渡来したヨーロッパ東南部原産の落葉低木。ライラックの変種で花が白く、母種より生育が良い。4～5月、長さ10～20cmの円錐花序を直立して、白色の花を密につける。強い芳香があるので、香水の原料にもされる。	
ズミ	バラ	リンゴ	コリンゴ	西ゲート	4/17	日当たりのよい山地の林縁や湿原などに生育し、高さ6～10m。花は5～6月で短枝の先に散形花序をだし、直径2～4cmの白色の花をつける。果実は、直径6～10mmの球形で、9～10月に赤色に熟す。	
セイヨウシャクナゲ	ツツジ	ツツジ		しゃくなげロード、洋 風庭園前	4/12	各地のシャクナゲ原種を品種改良したシャクナゲ類を総称してセイヨウシャクナゲと呼ぶ。4～7月に花が咲く。花色は紅色、紫紅色、白色などがある。	
セイヨウバクチノキ	バラ	バクチノキ		薬草園上の園路沿 い	4/20	ヨーロッパ原産の常緑小高木。花は4月に葉腋から穂状の総状花序を出し、白い花を多数付ける。果実は核果で6月に紫黒色に熟す。名称は、樹皮がはげ落ちるのをバクチに負けて裸にされたものに例えたもの。	

4月 開花マップ

植物名	科名	属名	別名	自生・植栽場所	平均開花 確認日	解説	備考
タムシバ	モクレン	モクレン	ニオイコブシ	浄水場下、さくらの森他林内	3/21	花は4～5月、葉の展開前に直径10cmほどの芳香のある白い花が咲く。果実は袋果が集まった集合果、長さ7～8cmのコブシ状長楕円形。10月頃赤く熟すと背面がわれ、糸状の珠柄の先に赤い種子がぶら下がる。	
ツクシシヤクナゲ	ツツジ	ツツジ		薬草園	4/10	山地に生え、高さ3～4m。葉は長さ8～20cmの倒披針形、全縁。裏面は褐色の毛が密生する。5～6月に淡い紅色の花が咲く。花冠は直径4,5cmの漏斗型で7裂する。筑紫石楠花。	
ツバキ類	ツバキ	ツバキ		ツバキ園他	11月頃 2～4月	青森県と秋田県以南に自生し、広く分布。花は紅色で子房は無毛。果実から油をとる。生育は遅い。チャドクガが発生。園芸品種は多い。	
ドウダンツツジ	ツツジ	ドウダンツツジ		見本園他	4/17	本州中部、四国、九州が原産。樹高は1～6m。葉は枝先に輪状に互生し、長さ2～5cmの倒卵形。縁に細かい鋸歯がある。花は4～5月、つぼ型の白い花を散形状に吊り下げる。秋は紅葉が美しい。	
トサミズキ	マンサク	トサミズキ		車庫裏	3/17	高知県の蛇紋岩地や石灰岩地に生育する。花は、3～4月に葉が展開する前に開花する。前年枝の葉腋から垂れ下がった穂状花序に黄色の花が7～10個つく。	
トネリコ	モクセイ	トネリコ	タモ	苗畑	4/21	奇数羽状複葉、小葉は2～4対、長さ5～15cm。花は芽吹き時に咲き、花弁がなく茶色い雄しべが目立つ。稲を乾す稲架木として田のわきに植栽される。	
ナシ	バラ	ナシ		苗畑	4/18	山地などに生育し、高さ10～15m。花は4～5月に短枝の先にでた散房花序に直径約3cmの白色の花が5～10個付く。果実は直径2～3cmの球形で、9～10月に黄褐色に熟す。古い時代に中国から渡来したという説がある。	
ナナカマド	バラ	ナナカマド		見本園	4/25	花は、5～7月に枝先に複散房花序をだし、直径6～10mmの白い花を多数つける。果実は、直径5～6mmの球形で、9～10月に赤く熟す。材が燃えにくく、7度かまどに入れても燃え残ることから名付けられたという説がある。	
ニシキギ	ニシキギ	ニシキギ		見本園、作業舎裏	4/29	丘陵から山地の林内や林縁に生育。若い枝は緑色で4稜があり、稜上に褐色の薄い板状の翼がある。花は5～6月に本年枝の芽鱗痕のわきから集散花序を出し、淡緑色の小さな花を数個つける。果実は10～11月に熟す。	
ハイノキ	ハイノキ	ハイノキ	イノコシバ	しゃくなげロード、他林内	4/23	林内に生育し、高さ5～10m。葉は互生し、長さ3～8cm、幅1～2.5cmで縁には浅い鋸歯がある。花は4～5月に白色の花をつける。果実は、8～10月に紫黒色に熟す。	
ハウチワカエデ	ムクロジ	カエデ	メイゲツカエデ	苗畑東側、他園内	3/27	山地に生え、高さ5～10m。4～5月、本年枝の先に散房花序をだし、暗紅紫色の花を開く。翼果は長さ約2cmで斜めに開く。	
ハクモクレン	モクレン	モクレン	ハクレン	見本園	3/21	中国原産。花芽は大きく長さ2～2.5cmで、白っぽい長い軟毛に覆われる。花は、3～4月、葉が展開する前に直径約10cmの白い花を開く。	
ハナカイドウ	バラ	リンゴ	カイドウ	さくら通り法面	4/9	中国原産で高さ5m。4月に短枝の先に直径3～3.5cmの淡紅色の花が4～6個垂れ下がって咲く。果実は直径5～9mmの球形で10～11月に黄色または暗紅褐色に熟す。おしべが退化している花が多く、めつたに結実しない。	
ハナズオウ	マメ	ハナズオウ		見本園	4/21	中国原産で古くから庭などに植栽され、高さ2～4m。花は4月に葉の展開前に前年枝や古い枝に紅紫色の花が束生する。果実は豆果で長さ5～7cm、幅1～1.5cmあり、中には5～8個の種子が入る。	
ハナミズキ	ミズキ	ミズキ	アメリカヤマボウシ	ツバキ園コブシ横	4/20	原産は米国、明治中期に渡来した。花は4～5月に葉が展開する時期とほぼ同時に開花する。花弁のように見えるのは総苞片で、白色や紅色がある。中心に黄緑色の15～20個の花をつける。果実は楕円形、9～11月に赤く熟す。	
ハナモモ	バラ	モモ		管理事務所前法面	4/6	中国北部原産の落葉小高木で、観賞用に改良された品種。花は4月、葉の展開前に開花し、白色、淡紅色、紅色などがある。芳香があり、花柄はほとんどない。八重咲きや菊咲きなどもある。	
ハンカチノキ	ミズキ	ハンカチノキ	ハトノキ	管理事務所横	4/22	中国西南部に分布する単型属(一科一属一種)の珍しい樹木。5月上旬頃に、枝から葉とともに花芽が見られる。名前は、花を包む白い2枚の苞(ハウ)が満開時に、たくさんのハンカチが垂れ下がるように見えることによる。	
ヒイラギナンテン	メギ	ヒイラギナンテン	トウナンテン	温室横	3/29	花は、3～4月に枝先に長さ10～15cmの総状花序を数個だし、黄色の花を多数つける。果実は、直径約7mmのほぼ球形～楕円形で6～7月に粉白を帯びた黒紫色に熟す。	
ヒメヤマツツジ	ツツジ	ツツジ		東山作業路	4/30	広島県や山口県に分布し、ヤマツツジと比較すると葉や花が小形で、花筒が長い。春葉と夏葉とがあり、夏葉の多くは、越冬する。花は4～6月に枝先に朱色の花を2～3個つける。果実は8～10月に熟し、裂開する。	

4月 開花マップ

植物名	科名	属名	別名	自生・植栽場所	平均開花 確認日	解説	備考
ヒュウガミズキ	マンサク	トサミズキ		車庫裏	3/19	やせた岩地に生育し、高さ1～3mになる。花は、3～4月に葉の展開前に開花する。花序は短く、淡黄色の花が1～3個つく。	
ヒラドツツジ	ツツジ	ツツジ		園内各所	4/16	長崎県平戸に古くから多数植栽される。ケラマツツジ、モチツツジ、キシツツジ、リュウキュウツツジなどの交雑により生じた栽培品種群。4～5月、枝先に直径6cmほどの大きな花が2～4個咲く。雄しべは10個、雌しべは1個。	
フジ	マメ	フジ	ノダフジ	出合いの広場、ファミリー広場	4/16	林縁や明るい樹林内に生育し、つるの巻き上がる方向は左巻き。花は5月に枝先に20～100cmの総状花序が垂れ下がり紫色の蝶形花が多数付く。果実は豆果、10～12月表面にピロイド状の短毛が密生する。	
フッキソウ	ツゲ	フッキソウ		湿地植物園	3/26	花は3～5月に穂状花序をつけ、上部に雄花、下部に雌花がつく。果実は9～10月に熟し、乳白色で球形。和名は株が増えていく様子を「富」が増すとみなし、実を貴金属とみなして「貴」の字をあてたとされる。	
フデリンドウ	リンドウ	リンドウ		林内	4/12	2年草。草丈は6～9cm、上半部に葉が密に対生する。花期は3～5月。青紫色の鐘形の花が咲く。曇の日は花が咲かない。名の由来は、茎の先につく花のつぼみの形が筆の先に似ていることによる。	
ベニスモモ	バラ	スモモ	ベニバスモモ	見本園(セイヨウヤマナラシ横)	3/26	栽培品種。花は4～5月に開花し、白色で中心部が薄いピンク色。葉が赤紫色であることから別名ベニバスモモと呼ばれる。	
ボケ	バラ	ボケ	カラボケ	センター池横	4/4	中国原産で、平安時代に渡来したと言われる。小枝には刺がある。花は、3～4月に葉の展開前に開花し、両性花と雄花が混生する。花の直径は2～5cm。果実は、長さ8～10cmの楕円形で7～8月に黄色に熟す。	
マルバアオダモ	モクセイ	トネリコ	ホンバアオダモ	車庫近く	4/22	平地から山地まで、日当たりのよいところに見られ、高さ5～15m。花は、雌雄別株で4～5月に、新枝の先に円錐花序を出し、白い花を多数つける。果実は、長さ2～2.7cm、幅4～5mmの倒披針形。	
ミツバアケビ	アケビ	アケビ		薬草園入口	4/16	山野に普通に生え、つるは右巻き。花は雌雄同株で、4～5月に総状花序が垂れ下がり、濃紫色の花をつける。果実は、長さ10cmの長楕円形で10月に熟す。	
ミツマタ	ジンチョウゲ	ミツマタ		管理事務所前法面	3/19	本年枝は必ず三つ又になる。花は3～4月の葉の展開前に、枝先にの頭上花序に30～50個の小さな花をつける。樹皮は製紙原料や紙幣の原料にも利用される。	
ムベ	アケビ	ムベ	トキワアケビ	多目的広場	4/20	常緑樹林内や林縁に生育する。花は雌雄同株で4～5月に葉腋から短い総状花序をだし、淡黄白色の花を3～7個つける。雌しべは3個。果実は、10～11月に紫色に熟す。アケビと違って裂開しない。	
モクレン	モクレン	モクレン	シモクレン	見本園	4/9	中国原産で庭木や公園に植栽される。花芽は大きく、葉芽は小さい。花は3～4月に葉の展開と同時に紅紫色の花を開く。果実は、袋果が集まった集合果。	
ヤブツバキ	ツバキ	ツバキ	ヤマツバキ	園内各所	11月頃 2～4月	海沿いに多いが、山地にも生え、高さ5～6mになる。花は、11～12月および2～4月に枝先の葉腋に赤色の花をつける。淡紅色や白色のものもある。	
ヤマブキ	バラ	ヤマブキ		樹木探勝園	4/14	山地の谷川沿いなど湿ったところに生え、高さ1～2m。花は4～5月に新しくでた短い側枝の先端に鮮黄色の花が1個ずつ開く。果実は長さ4mmの広楕円形が1～5個集まってつき、9月頃に暗褐色に熟す。	
ユキヤナギ	バラ	シモツケ	コゴメバナ	見本園、緑の相談所奥の川沿い	3/22	川岸の岩壁の割れ目や岩礫地などに生育し、高さ1～2m。花は、4月に前年枝に柄のない散房花序を多数つける。花序には直径約8mmの白い花が2～7個つく。果実は、5～6月に熟す。八重咲きはシジミバナ。	
ユズリハ	ユズリハ	ユズリハ		見本園	4/26	5～6月、前年枝の葉腋から長さ4～12cmの総状花序を出す。雄花は花卉も萼片もなく、雄しべが6～12個ある。雌雄別株。果実は長さ8～9mmの卵形楕円形で、11～12月に藍黒色に熟す。	
リキュウバイ	バラ	エクソコルダ	ウメザキウツギ バイカンモツケ	車庫裏	4/11	中国原産、明治時代に渡来し、観賞用に栽培されている。4～5月、5弁の白い梅花状の花をつける。基部は急に狭くなる。果実は8～9月ごろ熟し、翼のある種子を出す。	
レンギョウ	モクセイ	レンギョウ	レンギョウウツギ	ファミリー広場下	3/24	中国原産の落葉低木。枝は髓を除いて中空。花は雌雄別株で3～4月に葉の展開前に黄色い花を咲かせる。花柱が雄しべより長い。枝が中空なので、別名レンギョウウツギ。	